

# 至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和4年1月19日

第18号

## 3学期もよろしくお祈いします

冬休み中、事故や怪我がなく、元気に登校してくれました。いよいよ3学期のスタートです。

始業式は、また新型コロナウイルス感染症が広まりつつあることから、リモートで行いました。式に先立っての「3学期の頑張りたいこと」の発表では、各学年の代表が力強く3学期の目標を語ってくれました。今学期を迎えるに当たっての意気込みを感じました。

式辞では、大谷翔平選手のことを話題にして、目標達成に向けて取り組むことの大切さについて話をしました。

大谷選手は、野球が上手になるためにマンダラチャート（目標達成シート）をつくっていたそうです。マンダラチャートとは真ん中に強い目標を書き、その周りにその目標を達成するために必要な「要素」や「アイディア」等を書いたものです。大谷選手は、目標を立てただけではなく、それを達成するためには何が大事で、どうすればよいかということまで具体的に考えて取り組んでいたのです。

大谷選手が書き込んだ「要素」や「アイディア」の中には、「あいさつ」「部屋のそうじ」「仲間を思いやる心」等もあったそうです。「ただ野球の練習をしっかりとすればよい」というのではなく、振る舞いもとても立派だからこそ、多くのファンの心を惹きつけたのでしょね。

新学期を迎え、新しい目標をもった子供たちには、「目標をかなえるためにどうすればよいのかな」ということまで考えて取り組んでほしいと思います。その頑張りを、教職員みんなで応援していきます。

追記です。始業式で高沢先生が校歌の演奏をしました。これまでピアノを習った経験はないとのことですが、彼の「新しいことに挑戦する」という目標の一つがこの校歌演奏だったのです。「ちょっと待ってください」と2回やり直しをして3回目で弾き始めることになりましたが、それでよいのです。「新しいことに挑戦する」「失敗を恐れずやってみる」「立てた目標に継続して取り組む」ということのよさを示してくれました。教職員も頑張っていきます。



## 書初大会

始業式の後、書初大会を行いました。子供たちに「家でどれくらい練習した？」と聞くと、「10枚ほどしました」「ぼくは、12枚かな」などの返事が返ってきました。休み中も道具を広げ、練習していた光景が目につかびます。

大会前には、「昔から『字は体を表す』」と言います。また



『書は人なり』とも言います。書いた字にはその人その人柄が出るということです。人柄は既に決まっています。慌てて書けば大雑把な字に、落ち着いて書けば落ち着いた字になります。つまり、その時その時の気持ちが大切で、その気持ちが字に表れるということです」と話し、気持ちを落ち着かせ、手本をよく見て丁寧に書くことの大切さを伝えました。そのことを意識してくれたのでしょうか。大会では、静かに落ち着いて、一画一画丁寧に書いていました。



書き終えた書を見ると、気持ちのこもった綺麗な字になっていました。

## 避難訓練

18日（火）、「休憩時間の火災」を想定した避難訓練を行いました。前回の出火場所は給食室でグラウンドへ避難しました。今回は3階の家庭科室を出火場所とし、体育館へ避難しました。いろいろな場面を想定して訓練をしています。

総務省消防庁の調査によると、建物火災での焼死者の一番の死因は一酸化炭素中毒・窒息によるもので、全体の40%以上を占めており、有毒ガスを吸うことによって身動きがとれなくなり、そのまま火に飲み込まれて死亡するケースが多く報告されているそうです。有毒ガスは目には見えないからこそ、急いで避難をしなければなりません。

今回は休憩時間の訓練ということで、教師の指示はなく、子供たちの自主的な判断での避難でしたが、高学年が主となって素早く避難できました。

火災対応、地震対応、不審者対応等、状況に応じて避難の方法は違いますが、今回のような自主的な避難も経験させることで、子供たちの災害時における対応力を育てていきます。

## 雪遊び

18日（火）、ゴールデンスポーツタイムとして、昼休みを延長して雪遊びをしました。子供たちは、まだ足跡のない新鮮な雪が積もったグラウンドへ飛び出し、班毎に思い思いの雪遊びを楽しみました。

雪投げ、大きな雪玉・雪だるま作り、雪当ての鬼ごっこ、築山でのソリ等、どの班も楽しそうでした。

大人にとっては厄介に感じることもある雪も、子供たちにとってはありがたい自然からの贈り物。雪国ならではの冬の楽しみを満喫したようです。

